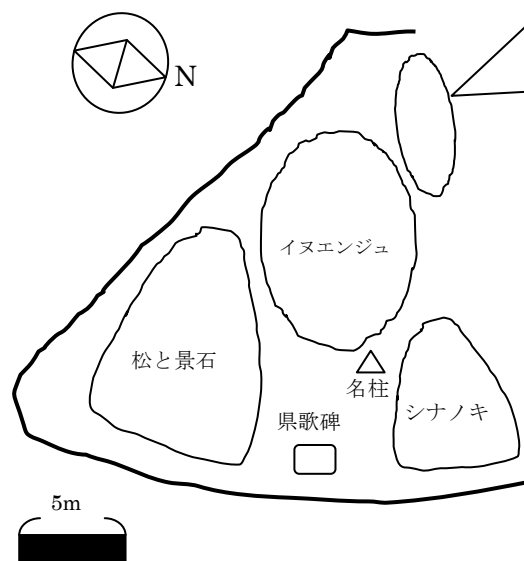


# 長野県の森

長野県の森は、クロマツやイヌエンジュなど、県内に自生する樹木を中心とした緑あふれるエリアです。長野県人会の県歌記念碑や記念樹、また白馬村の石英安山岩など、郷土色豊かで見どころの多い森になっています。



## 小諸八重紅枝垂桜(コモロヤエベニシダレザクラ)

1633年頃、小諸城址の懐古園に植えられた枝垂れ桜が発祥の品種です。4月頃に鮮やかな濃い紅色の美しい花を咲かせます。

(平成21年 長野県人会創立60周年記念樹)



## 県歌記念碑「信濃の国」

明治33年頃、師範学校の教諭らにより作詞・作曲され、昭和43年に正式に県歌として制定されました。「県民のほとんどが歌える」と言われる「信濃の国」は、故郷の山河を想い、今なお愛唱され続けています。

(平成3年 兵庫県長野県人会 建立)



## シナノキ(シナノキ科)

6~7月頃、淡黄色の花を咲かせます。樹皮は繊維が強靱で、昔は布などの原料になりました。

この木が多いので「信濃」と呼ばれるようになったとの説もあります。

(平成11年 長野県人会創立50周年記念樹)